

カナダの文化に触れる ～おおつち鮭帰願祭～

12月10日(土)、大槌川河川敷では、「おおつち鮭帰願祭 with カナダクリスマスカフェ」が開催されました。

鮭が帰ってくるようにとの願いがこめられたこのイベントは、カナダ大使館の皆さんなどの協力を得て行われ、参加者たちは、カナダのクリスマス料理を味わったり、ライブに聞き入ったりして楽しみました。

地元からは、郷土芸能や民謡、大槌保育園の子供たちによるおゆうぎなどが披露され、鮭を通じて出会った友人たちと絆を深めました。



高齢者世帯におせち料理

12月16日(金)から年末に向け、仮設住宅で暮らしている高齢者のみなさんへ、真空パックになったおせち料理が届けられました。これは、茨城県古河市「社会福祉法人芳香会」の支援によるもので、電子レンジや湯煎で簡単に調理して食べられるものです。

仮設に住む白澤康弘さん(写真中央)は、「一人暮らしだからね。このように温めてすぐ食べられるものは助かる。こんなに良くしてもらって、うれしいです。ありがとうございます。」と感謝していました。



まちの話題あれこれ

園児が「火の用心」呼びかけ

堤乳幼児保育園幼年消防クラブによる防火パレードは12月13日(火)、吉里吉里地区3か所の仮設団地で行われました。参加した園児は61名。カスタネットをならしながら、歌に合わせて「戸締り用心、火の用心」を呼びかけました。



冬空の下、仮設店舗に大行列 大槌北小福幸きらり商店街オープン

12月17日(土)、大槌北小地区仮設店舗「大槌北小福幸きらり商店街」のオープニングイベントが開催され、たくさんの方が集まりました。抽選会や郷土芸能、餅まきなど、様々な催しが行われましたが、集まった人の目的は、やはり久しぶりに再開した地元のお店の品々。オープン時には店いっばいに並んでいた商品も、お昼にはほぼ売り切れるほど。町の人たちが開店をどれだけ待ち望んでいたかがうかがえる光景でした。

